

平成26年度

高鍋町外部評価委員会

答 申

平成26年10月

高鍋町外部評価委員会

目 次

1. 高鍋町外部評価委員会とは	1
2. 外部評価委員会委員名簿	1
3. 平成26年度高鍋町外部評価委員会による評価実施概要	2
4. 評価対象の事務事業	2
5. 高鍋町外部評価委員会の開催日時	3
6. 評価表及び評価結果	5 ~ 26
7. 今後の課題と改善への提言及び要望	27

1. 高鍋町外部評価委員会とは

各課が実施した事務事業評価（内部による1次評価）の結果について、評価の客観性・公平性・信頼性を高めるために、第三者評価機関として外部評価委員会を設置し、評価を行う。ただし、その事業の継続や廃止、休止等の判断ではなく、町の内部評価に対する外部からの客観的評価と位置づける。

2. 外部評価委員会委員名簿

外部評価委員会は、下記の6名（学識経験者2名、公募委員4名）で構成されている。

【高鍋町外部評価委員会委員】

役 職	氏 名		任 期
委員長	入 谷 貴 夫	学識経験者：宮崎大学 教育文化学部教授	平成26年 8月1日～ 平成28年 3月31日
副委員長	柚 原 知 明	学識経験者：宮崎産業経営大学 経営学部教授	平成25年 8月1日～ 平成27年 3月31日
委 員	臼 山 元 義	公募委員	平成26年 8月1日～ 平成28年 3月31日
委 員	湯 浅 千 春	公募委員	平成26年 8月1日～ 平成28年 3月31日
委 員	知 念 美 佳	公募委員	平成26年 8月1日～ 平成28年 3月31日
委 員	中 村 康 夫	公募委員	平成26年 8月1日～ 平成28年 3月31日

3. 平成26年度 高鍋町外部評価委員会による評価実施概要

◎ 対象年度：平成25年度継続事業

◎ 対象数：事務事業11件

外部評価委員6名が、平成26年度評価事務事業52事業から選択。

◎ 評価手順：

(ア)事務事業の評価表と参考資料を配布する。

(イ)各担当職員が評価表に沿って説明を行う(10分)。

(ウ)質疑応答・意見交換を行う(20分)。

(エ)外部評価シートへの記入により、評価判定及び意見の集約を行う。

4. 評価対象の事務事業

No.	事務事業名	担当課
1	スポーツ合宿等誘致事業	政策推進課
2	企業立地促進事業	
3	延長保育事業	健康福祉課
4	地場産業振興会補助事業	産業振興課
5	景観整備機構補助金	建設管理課
6	高齢者住宅改造助成事業	健康福祉課
7	緊急通報システム事業	
8	消防団運営事業	総務課
9	消防施設整備事業	
10	地域安全対策事業	
11	農業振興対策事業	産業振興課

5. 高鍋町外部評価委員会の開催日時

平成26年度は外部評価委員会を3回開催し、11事業について審議。

その他、町長への答申を行う。

委員会	日時	審議内容等	会場
第1回	平成26年8月22日(金) 14:00~16:25	事業評価(3事業) ・スポーツ合宿等誘致事業 ・企業立地促進事業 ・延長保育事業	第1会議室
第2回	平成26年8月25日(月) 13:30~16:45	事業評価(4事業) ・地場産業振興対策事業 ・景観整備機構補助金 ・高齢者住宅改造助成事業 ・緊急通報システム事業	第1会議室
第3回	平成26年8月26日(火) 13:30~16:45	事業評価(4事業) ・消防団運営事業 ・消防施設整備事業 ・地域安全対策事業 ・農業振興対策事業	第1会議室

【その他】

日時	内容	会場
平成26年10月15日(水) 14:00	町長へ答申書提出	応接室

6. 評価結果の概要

担当課による1次評価(内部評価)をふまえ、外部評価委員会では、その事業の「目的・内容、成果指標、活動指標、妥当性、有効性、効率性」を勘案して評価を行った。その結果については、以下のとおりである。

ただし、評価判定については、事業の今後の方向性や改善点等にも様々な捉え方があるため、意見提言の形で委員会の意見を集約した。

平成26年度高鍋町事務事業評価表A

◎事務事業の概要

継続事業

事務事業名	スポーツ合宿等誘致事業				基本目標	スポーツ交流の推進				
担当課(局)・係	政策推進課	総合政策係	記入者	日高茂利		事業開始年度	H18	年度		
事業の目的	対象(誰を・何を)			意図(どのような状態にしたいのか)						
	町の経済			スポーツを通して活性化する						
事業の内容	社会人や大学などのスポーツ団体に対して合宿や大会等の誘致活動を行い、町社会体育施設の有効利用と宿泊施設をはじめとする町内産業の活性化を図る。また、学生スポーツ合宿団体に対し滞在経費の一部を助成することで誘致活動を促進し、交流人口の拡大を図る。									
予算・決算額	年度	平成24	年度決算	平成25	年度決算	平成26	年度予算	平成26年度予算財源の内訳		
	金額	306千円		1,998千円		877千円		国庫支出金	千円	
	主な予算科目	歳入						県負担金	千円	
		歳出	旅費、補助金					地方債	千円	
							その他	千円		
							一般財源	877千円		
補助事業	事業の区分	町単独補助			補助事業名	スポーツ合宿補助金				
	補助対象	スポーツ合宿団体			補助金要綱	高鍋町スポーツ合宿補助金交付要綱				
	前年度決算	補助額	1,257千円		補助の形態	臨時的補助	H26年度補助額	300千円	終期	28
		交付団体の決算額	26,645千円		前年度までの見直しの状況・評価委員会での決定事項等					
決算額に占める割合	5%		事業拡充:コスト拡充(H26) ◎練習場も確保できたので、有効誘致を図っていただきたい。(H23) ◎グラウンドを利用した誘致には限りがあるので、総合体育館も利用したキャンプ誘致を進めていただきたい。(H23) ◎スポーツキャンプによる町内の経済に与える波及効果は大きいので、今後も宿泊キャンプの誘致を積極的に展開してもらいたい。(H23)							
繰越額	31千円									

◎指標の設定

「事業の目的」の達成のために、この事業でねらう成果(補助事業の場合、補助対象に期待する成果) ……A								
合宿、大会等の誘致			交流人口の拡大					
Aの達成状況を計るもの ……成果指標								
成果指標名	最終目標値	単位	成果指標名	最終目標値	単位	成果指標名	最終目標値	単位
合宿団体数	5	団体	合宿延べ参加数	2000	人			
Aを達成するために、この事業で行う活動 ……活動指標								
活動指標名	単位	活動指標名	単位	活動指標名	単位			
新規誘致及びフォローアップ訪問数	回	合宿相談対応数	件					

◎目標達成状況

	指標名	単位	26年度			これまでの活動状況・特記事項	
			24年度	25年度	26年度		
成果指標	合宿団体数	団体	実績値	2	6	目標値	5
			達成率	40.0%	120.0%	達成率	100.0%
	合宿延べ参加数	人	実績値	878	2479	目標値	2000
			達成率	43.9%	124.0%	達成率	100.0%
活動指標	新規誘致及びフォローアップ訪問数	回	実績値	3	1	目標値	2
			目標値	3	3		
	合宿相談対応数	件	実績値	5	8	目標値	10
			目標値	10	10		
			実績値			目標値	
			目標値				

※達成率は、「目標の設定」で定めた最終目標値に対するもの。

◎主管課による総合評価(今後の方向性を含む)

採点基準:(高い) 5-4-3-2-1 (低い)

総合評価	必要性	5	効率性	4	宿泊施設への誘客促進や町内での購買・消費につながるものである。誘致にあたっては民間事業者と連携してセールスを行うと同時に、多くの自治体が競合する中で合宿団体に対して町が積極的な立場を示すことは誘致活動に重要である。有効性については、外部交流による活気の増大など数値化による評価が難しい部分もあるが、基本目標の達成につながるものと判断する。合宿の受入団体が増加することで補助金支出も増大する傾向にあるが、その殆どが団体の滞在期間中の経費に充てられており結果的に地域へ還元され公益性も認められる。	今後の方向性
	有効性	4	公益性	5		拡充

事務事業評価委員会評価欄		外部評価委員会評価判定欄
拡充		次ページ参照

1	スポーツ合宿等誘致事業	担当課	政策推進課
---	-------------	-----	-------

◎評価表記載内容の判定

回答人数 6名

目的内容	事業の目的内容は妥当であるか (6名) 妥当である (0名) 妥当でない
成果指標	事業の目的の達成度を表す指標となっているか (5名) なっている (1名) なっていない
活動指標	成果指標を実現するための指標となっているか (5名) なっている (1名) なっていない
妥当性	町民のニーズは高いか (1名) 高い (5名) ふつう (0名) 低い
有効性	成果が得られているか (今後得られる期待があるか) (6名) 得られている (0名) 得られていない
効率性	コストに対して効果は高いか (0名) 高い (6名) ふつう (0名) 低い

◎評価判定 (今後の方向性)

拡充	(3名) 拡充 (3名) 維持 (0名) 縮小 (0名) 廃止
<p>【評価内容に関する意見提言】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新規誘致およびフォローアップ訪問数のH25実績値が低いように思われる。 ・事業の目的の「活性化」に対する定量的評価方法を検討していただきたい。 ・交流・活発・活性に合わせ経済効果についても数値が示されるとよい。 <p>【この事業、又はこの事業の分野に関する意見提言】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高鍋町が交流人口を増やすことで町の活性化を図ろうとしているとすれば、「スポーツツーリズム」の視点から誘致客に観光(回遊)してもらおう方策も考えたらどうかと思う。 ・今後設備、環境について充実させる必要がある。 ・今は野球が主になっているが、今後はもっとほかのスポーツ団体も増えていくとよいと思う。 ・今後ますますの交流人口拡大を期待します。幅広い種目で一年を通して合宿ができる誘致活動をしてほしい。 	

平成26年度高鍋町事務事業評価表A

◎事務事業の概要

継続事業

事務事業名	企業立地促進事業				基本目標	企業立地の促進				
担当課(局)・係	政策推進課	総合政策係	記入者	日高茂利		事業開始年度	H18	年度		
事業の目的	対象(誰を・何を)			意図(どのような状態にしたいのか)						
	町民			雇用機会を確保し維持する						
事業の内容	新産業の創出や雇用機会の確保による地域経済の活性化を目的として町内への企業立地をすすめる。立地に関する相談や候補地等の情報提供対応を行うほか、企業誘致コーディネーターによる首都圏での定期的な企業訪問やPR活動を行う。また、県外地域での町人会組織の設立をすすめる、企業動向等の情報収集を行う。新規立地企業及び事業拡充を計画する企業に関しては、条例に基づく奨励措置について審議会を開催し、指定事務や優遇措置に係る手続きを行う。									
予算・決算額	年度	平成24	年度決算	平成25	年度決算	平成26	年度予算	平成26年度予算財源の内訳		
	金額	2,721千円		1,473千円		1,178千円		国庫支出金	千円	
	主な予算科目	歳入						県負担金	千円	
		歳出	報償費、旅費、食糧費等					地方債	千円	
							その他	千円		
							一般財源	1,178千円		
補助事業	事業の区分	町単独補助			補助事業名	近畿高鍋会運営助成金				
	補助対象	近畿高鍋会			補助金要綱	近畿高鍋会運営助成金交付要綱				
	前年度決算	補助額	100千円		補助の形態	運営費補助	H26年度補助額	100千円	終期	26
		交付団体の決算額	102千円		前年度までの見直しの状況・評価委員会での決定事項等					
	決算額に占める割合	98%		事業拡充:コスト維持(H25) ※H23は町人会設立準備委員会補助金 ◎担当課の方針どおり。(H25) ◎近畿高鍋会運営助成金は平成26年度で終了予定。他の高鍋会育成にも力を入れて欲しい。(H25)						
繰越額	0千円									

◎指標の設定

「事業の目的」の達成のために、この事業でねらう成果(補助事業の場合、補助対象に期待する成果) ……A								
企業の新增設			雇用機会の確保			情報収集及び支援体制の整備		
Aの達成状況を計るもの ……成果指標								
成果指標名	最終目標値	単位	成果指標名	最終目標値	単位	成果指標名	最終目標値	単位
奨励措置指定件数	1	件	指定企業新規雇用者数	10	人	町人会設立数	1	団体
Aを達成するために、この事業で行う活動 ……活動指標								
活動指標名	単位	3			単位	活動指標名	単位	
事業所訪問数	件	相談対応件数			件			

◎目標達成状況

	指標名	単位	24年度			25年度		26年度		これまでの活動状況・特記事項
			実績値	0	2	目標値	1	実績値	0	
成果指標	奨励措置指定件数	件	実績値	0	2	目標値	1	新設指定工場:県外企業(1社)、町内起業(1社)		
			達成率	0.0%	200.0%	達成率	100.0%			
	指定企業新規雇用者数	人	実績値	0	10	目標値	10			
			達成率	0.0%	100.0%	達成率	100.0%			
町人会設立数	団体	実績値	0	0	目標値	1	23年度に「近畿高鍋会」が設立			
		達成率	0.0%	0.0%	達成率	100.0%				
活動指標	事業所訪問数	件	実績値	82	79	目標値	120	企業誘致コーディネーターによる訪問活動及び町長等によるフォローアップ訪問を実施		
			目標値	120	120					
	相談対応件数	件	実績値	2	2	目標値	10			
			目標値	10	10					
			実績値			目標値				
			目標値							

※達成率は、「目標の設定」で定めた最終目標値に対するもの。

◎主管課による総合評価(今後の方向性を含む)

採点基準:(高い) 5-4-3-2-1 (低い)

総合評価	必要性	5	効率性	4	地域経済の活性化や雇用の確保を目的とした企業誘致活動は町が主体的に取り組むべき事業であり、目的の達成には積極的な情報収集と地道な企業訪問活動が必要となる。これらについて、企業誘致コーディネーターの配置や県外での町人会設立は一定の効果があるものと判断している。また、企業の新規誘致のためには時間や費用も要する点もあるが、将来的な雇用の確保等の観点からすれば効果も裏付けられる。町人会は、遠隔地から町の発展に寄与することを目的としており、県外在住者と高鍋町政をつなぐ組織として公益性が認められる。	今後の方向性
	有効性	5	公益性	5		拡充

事務事業評価委員会評価欄	拡充	外部評価委員会評価判定欄
		次ページ参照

2	企業立地促進事業	担当課	政策推進課
---	----------	-----	-------

◎評価表記載内容の判定

回答人数

6名

目的内容	事業の目的内容は妥当であるか (6名) 妥当である (0名) 妥当でない
成果指標	事業の目的の達成度を表す指標となっているか (5名) なっている (1名) なっていない
活動指標	成果指標を実現するための指標となっているか (5名) なっている (1名) なっていない
妥当性	町民のニーズは高いか (5名) 高い (1名) ふつう (0名) 低い
有効性	成果が得られているか (今後得られる期待があるか) (3名) 得られている (3名) 得られていない
効率性	コストに対して効果は高いか (0名) 高い (5名) ふつう (1名) 低い

◎評価判定 (今後の方向性)

拡充	(4名) 拡充 (2名) 維持 (0名) 縮小 (0名) 廃止
<p>【評価内容に関する意見提言】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事業のあり方、方策について検討して指標設定してほしい。 <p>【この事業、又はこの事業の分野に関する意見提言】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高速道路の効果をアピールすることができるのか。 ・町内起業も大事な視点になる。 ・近畿高鍋会を企業誘致にどう結び付けていくかも重要。 ・地域経済の活性化には、企業誘致のみならず内発型の人材育成や起業推進等も併せて検討していただきたい。 ・高鍋により良い条件の企業が来てもらえるとよい。 ・現在ある建物を利用できる企業があるとよい。 ・コーディネーターの配置は効果があるようなので、もし高齢の方なら後継者についても視野に入れて考えていただきたい。 ・南九大跡地の利用方法を検討してほしい。 ・町人会やインターネットを通じた活動もしてほしい。 	

平成26年度高鍋町事務事業評価表A

◎事務事業の概要

継続事業

事務事業名	延長保育事業				基本目標	子育て中の家庭への支援体制の整備			
担当課(局)・係	健康福祉課	子ども支援係	記入者	瀬川芳一		事業開始年度	H13	年度	
事業の目的	対象(誰を・何を)			意図(どのような状態にしたいのか)					
	児童			必要な保育を受けられるようにする					
事業の内容	通常の保育業務の時間外に保育サービスを提供する								
予算・決算額	年度	平成24	年度決算	平成25	年度決算	平成26	年度予算	平成26年度予算財源の内訳	
	金額	24,565 千円		24,645 千円		24,645	千円	国庫支出金	千円
	主な予算科目	歳入	県補助金			地方債			千円
		歳出	補助金			その他			千円
					一般財源			8,215 千円	
補助事業	事業の区分	国県補助			補助事業名	延長保育事業補助金			
	補助対象	町内に所在する私立保育所			補助金要綱	高鍋町私立保育所延長保育事業費補助金交付要			
	前年度決算	補助額	24,645 千円	補助の形態	国県補助	H26年度補助額	24,645 千円	終期	26
	決算額に占める割合	29,853 千円			前年度までの見直しの状況・評価委員会での決定事項等				
		繰越額		0 千円		<small>◎子育て支援の立場から、継続すべき事業である。(H23)</small> <small>◎利用者からの要望もあり、必要性の高い事業と考えるが、これ以上の拡充は難しいと考える。(H23)</small> <small>H25 6号補正で△3,025千円減額</small>			

◎指標の設定

「事業の目的」の達成のために、この事業でねらう成果(補助事業の場合、補助対象に期待する成果) ……A								
就労と育児の推進			安心して子育てができる環境の充実					
Aの達成状況を計るもの ……成果指標								
成果指標名	最終目標値	単位	成果指標名	最終目標値	単位	成果指標名	最終目標値	単位
町内実施園数	7	園	延長保育利用児童数	—	人			
Aを達成するために、この事業で行う活動 ……活動指標								
活動指標名	単位	活動指標名	単位	活動指標名	単位	活動指標名	単位	
事業担当保育士の配置(一園につき)	人							

◎目標達成状況

	指標名	単位				これまでの活動状況・特記事項	
			24年度	25年度	26年度		
成果指標	町内実施園数	園	実績値	7	7	目標値	7
			達成率	100.0%	100.0%	達成率	100.0%
	延長保育利用児童数	人	実績値	167	181	目標値	—
			達成率			達成率	
活動指標	事業担当保育士の配置(一園につき)	人	実績値	2	2	目標値	2
			目標値	2	2	目標値	2
				実績値		目標値	
				目標値		目標値	

※達成率は、「目標の設定」で定めた最終目標値に対するもの。

◎主管課による総合評価(今後の方向性を含む)

採点基準:(高い) 5-4-3-2-1 (低い)

総合評価	必要性	4	効率性	3	保護者の需要に応じた施設体制が整備されており、就労と育児の両立支援を推進している。 安心して子育てができる環境の整備が図られている。	今後の方向性
	有効性	4	公益性	4		維持

事務事業評価委員会評価欄	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者があり、また、国県の補助事業でもあるので継続すべき事業である。 ・子育て支援の推進上必要。 ・就労と子育ての両立のためには必要 事業の成果が分かりにくい。指標の見直しが必要ではないか	外部評価委員会評価判定欄
維持		次ページ参照

3	延長保育事業	担当課	健康福祉課
---	--------	-----	-------

◎評価表記載内容の判定

回答人数

5名

目的内容	事業の目的内容は妥当であるか (5名) 妥当である (0名) 妥当でない
成果指標	事業の目的の達成度を表す指標となっているか (4名) なっている (1名) なっていない
活動指標	成果指標を実現するための指標となっているか (4名) なっている (1名) なっていない
妥当性	町民のニーズは高いか (4名) 高い (1名) ふつう (0名) 低い
有効性	成果が得られているか (今後得られる期待があるか) (4名) 得られている (1名) 得られていない
効率性	コストに対して効果は高いか (2名) 高い (2名) ふつう (1名) 低い

◎評価判定 (今後の方向性)

維持	(1名) 拡充 (4名) 維持 (0名) 縮小 (0名) 廃止
<p>【評価内容に関する意見提言】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・必要性と公益性は高いと考える。 ・町民ニーズの定量的な測定と予算額との整合がとれるようご尽力いただきたい。 ・成果、有効性がわかりにくい。 ・延長保育利用児童1人当たりの補助額が分かると比較しやすい。 <p>【この事業、又はこの事業の分野に関する意見提言】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子どもの保育に必要なことの意味を正面から見る必要がある。 ・H27年度から法定受託事務になることで、位置づけも変更され则认为。 ・保育サービスを受けるための条件を明確化してほしい。 ・働いている親にとってとても助かる事業だと思う。 ・必要な事業である。 	

平成26年度高鍋町事務事業評価表A

◎事務事業の概要

継続事業

事務事業名	地場産業振興対策事業				基本目標	地場産業の振興				
担当課(局)・係	産業振興課	商工観光係	記入者	吉田 竜人		事業開始年度	H1	年度		
事業の目的	対象(誰を・何を)				意図(どのような状態にしたいのか)					
	新商品の開発、需要の開拓、販路拡大等を目的に、新たに事業を行う団体				地場産業振興、農商連携による地域活性化を図る。					
事業の内容	補助対象経費:①新商品開発に係る調査・分析等に要する費用(人件費を除く) ②新商品の展示会及び試食会に要する経費 ③新商品の販路拡大のための市場調査等に要する経費 ④その他町長が適当と認めた事業に要する経費 補助率等:50/100以内(上限100万円)									
予算・決算額	年度	平成24	年度決算	平成25	年度決算	平成26	年度予算	平成26年度予算財源の内訳		
	金額	520千円		0千円		1,000千円		国庫支出金	千円	
	主な予算科目	歳入						県負担金	千円	
		歳出	地場産業振興対策補助金					地方債	千円	
							その他	千円		
							一般財源	1,000千円		
補助事業	事業の区分	町単独補助			補助事業名	地場産業振興対策補助金				
	補助対象	高鍋町地場産業振興会会員ほか			補助金要綱	高鍋町地場産業振興対策補助金交付要綱				
	前年度決算	補助額	0千円		補助の形態	臨時的補助	H26年度補助額	1,000千円	終期	26
		交付団体の決算額	0千円		前年度までの見直しの状況・評価委員会での決定事項等					
	決算額に占める割合	#DIV/0!		%	事業維持:コスト維持(H23) ※外部 事業拡充:コスト維持@コスト拡充(H23) ◎商品開発から販路開発までの一貫補助体制が必要と考える。(H23) ◎特産品の開発は観光産業の目玉となりえるものであり事業継続するべきと考える。(H23) ◎開発商品の販路拡大のための方策を要検討と考える。(H23)					
	繰越額	0千円								

◎指標の設定

「事業の目的」の達成のために、この事業でねらう成果(補助事業の場合、補助対象に期待する成果) ……A								
地場産業の振興			観光の振興					
Aの達成状況を計るもの ……成果指標								
成果指標名	最終目標値	単位	成果指標名	最終目標値	単位	成果指標名	最終目標値	単位
新商品の開発数(単年度)	1	品	開発商品の売上(年間)	10,000	千円			
Aを達成するために、この事業で行う活動 ……活動指標								
活動指標名	単位	活動指標名	単位	活動指標名	単位			
ロールキャベツ丼販売食数(年間)	食	キャベローちゃん販売個数(年間)	個	キャベツ丸販売個数(年間)	個			

◎目標達成状況

	指標名	単位	26年度			これまでの活動状況・特記事項		
			24年度	25年度	26年度			
成果指標	新商品の開発数(単年度)	品	実績値	3	3	目標値	1	平成24年度:高鍋ロールキャベツ丼、キャベローちゃん(ロールケーキ)、きゃべつ丸(シュークリーム)の開発 平成25年度:大使くんバナナチップス、キャベツクッキー、キャベツ大福の開発
			達成率	300.0%	300.0%	達成率	100.0%	
	開発商品の売上(年間)	千円	実績値	1,458	3,302	目標値	5000	
			達成率	14.6%	33.0%	達成率	50.0%	
活動指標	ロールキャベツ丼販売食数(年間)	食	実績値	1,236	1,047	目標値	1,200	
			目標値	1,200	1,200			
	キャベローちゃん販売個数(年間)	個	実績値	414	1,523	目標値	1,800	平成24年度実績値 =平成25年3月分の1ヶ月分のみ
			目標値	150	1,800			
	キャベツ丸販売個数(年間)	個	実績値	1,092	3,777	目標値	4,200	平成24年度実績値 =平成25年3月分の1ヶ月分のみ
			目標値	300	3,600			

※達成率は、「目標の設定」で定めた最終目標値に対するもの。

◎主管課による総合評価(今後の方向性を含む)

採点基準:(高い) 5-4-3-2-1 (低い)

総合評価	必要性	5	効率性	4	「6次産業化」「農商連携」「地産地消」につながる可能性を見出す事業であり、高鍋ブランドとして独自性の高い製品開発を目指すため、町としても推進すべき事業である。高鍋ブランドとなりうる製品開発までには至っていないが、町内農畜産物の消費拡大、観光土産品としての選択肢拡大、販路(店頭、インターネット)拡大など、地場産業の振興・発展に向けて一定の成果は上がっている。	今後の方向性 拡充
	有効性	5	公益性	4		

事務事業評価委員会評価欄	<ul style="list-style-type: none"> 地場産業振興のための事業は大いにする必要があるが、予算的には維持。 例年、同額の100万円を予算計上しているが、実績が伴わないため、方向性が拡充はない。 新商品開発だけでなく、定着・販路拡大をまず実施すべきではないか。 商品開発はすすめられており商品化など一定の成果が見られる。今後は商品PRや販売手法などを含めたトータルでの事業展開に期待したい 	外部評価委員会評価判定欄
維持		次ページ参照

4	地場産業振興対策事業	担当課	産業振興課
---	------------	-----	-------

◎評価表記載内容の判定

回答人数

6名

目的内容	事業の目的内容は妥当であるか (5名) 妥当である (1名) 妥当でない
成果指標	事業の目的の達成度を表す指標となっているか (2名) なっている (4名) なっていない
活動指標	成果指標を実現するための指標となっているか (3名) なっている (3名) なっていない
妥当性	町民のニーズは高いか (2名) 高い (3名) ふう (1名) 低い
有効性	成果が得られているか (今後得られる期待があるか) (2名) 得られている (4名) 得られていない
効率性	コストに対して効果は高いか (1名) 高い (3名) ふう (2名) 低い

◎評価判定 (今後の方向性)

維持	(2名) 拡充 (3名) 維持 (1名) 縮小 (0名) 廃止
<p>【評価内容に関する意見提言】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・この事業の目的を明確にすることが大切だと思う。 ・事業の目的の「地域活性化」とは何かについてももう少し検討を踏まえた成果指標を設定していただきたい。 ・事業の目的をしっかりとらえて企画してもらいたい。 ・目標値の決定方法があいまいである。 <p>【この事業、又はこの事業の分野に関する意見提言】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・町外者の視点からは、すでに有名であるぎょうざ (材料としてキャベツも活かせる) にこだわった事業を展開すると効果が出ると思う。 ・高鍋ブランドを完成させてPRする方策をしっかりと検討してもらいたい。 ・新商品が開発されたら、まず町民に試食会等で知らせてほしい。 ・遊休農地を活かした作物の開発。 ・県内外へのPRに力を入れてほしい。 ・商品の値段がちょっと高いような気がします。 ・せっかく補助金を交付しているので、開発だけでなくPRにも力を入れて、周知されるようにしてほしい。 ・コンテスト等をして、優秀な地場産品を育成してほしい。 ・失敗を恐れず挑戦してほしい。 	

平成26年度高鍋町事務事業評価表A

◎事務事業の概要

継続事業

事務事業名	景観整備機構補助金		基本目標	景観形成の推進				
担当課(局)・係	建設管理課	建築・都市計画係	記入者	長尾 広則		事業開始年度	平成24年度	
事業の目的	対象(誰を・何を)		意図(どのような状態にしたいのか)					
	町内の景観		高鍋らしい特性を活かした良好な景観を形成する					
事業の内容	25年度は、さくら通りのサインを設置したのに対して意向調査(アンケート)を行い、検証を行った。							
予算・決算額	年度	平成24年度決算	平成25年度決算	平成26年度予算	平成26年度予算財源の内訳			
	金額	50千円		50千円	国庫支出金	0千円		
	主な予算科目	歳入				県負担金	0千円	
		歳出	景観整備機構補助金			地方債	0千円	
補助事業	事業の区分	町単独による補助事業		補助事業名	景観整備機構補助金			
	補助対象			補助金要綱	高鍋町景観整備機構補助金交付要綱			
	前年度決算	補助額	50千円	補助の形態	臨時的補助	H26年度補助額	50千円	
	交付団体の決算額	50千円		前年度までの見直しの状況・評価委員会での決定事項等				
	決算額に占める割合	100%		<small>H24 新規事業 ◎機構の運営計画の明確化が必要。補助事業についても運営費補助なのか目的補助なのかよく分からない。(H25) ◎他の活動補助は必要であるが、補助目的が明確でない。(H25) ◎各年で実施の依頼事業が異なるのであれば、委託料でも良いのでは？(H25)</small>				
	繰越額	0千円						

◎指標の設定

「事業の目的」の達成のために、この事業でねらう成果(補助事業の場合、補助対象に期待する成果) ……A								
良好な景観形成の推進								
Aの達成状況を計るもの ……成果指標								
成果指標名	最終目標値	単位	成果指標名	最終目標値	単位	成果指標名	最終目標値	単位
さくら通りのサインデザイン	1	式	さくら通りのサイン設置に伴う評価	1	式	サイン基本計画の策定	1	式
Aを達成するために、この事業で行う活動 ……活動指標								
活動指標名	単位	活動指標名	単位	活動指標名	単位			
打ち合わせ等の回数	回数							

◎目標達成状況

成果指標	指標名	単位	24年度			25年度			26年度			これまでの活動状況・特記事項
			実績値	目標値	達成率	実績値	目標値	達成率	実績値	目標値	達成率	
成果指標	さくら通りのサインデザイン	式	実績値	1		目標値			目標値			周辺と調和したさくら通りのサインデザインの設計
			達成率	100.0%		達成率			達成率			
	さくら通りのサイン設置に伴う評価	式	実績値		1	目標値			実績値			設計に基づきサインを設置する。そのサインに対する評価・検証を行う。
活動指標	サイン基本計画の策定	式	実績値			目標値	1		実績値			上記結果を踏まえ、町内の施設等におけるサインの基本計画を検討したい。
			達成率	0.0%	0.0%	達成率			達成率			
	打ち合わせ等の回数	回数	実績値	3	5	目標値	5		実績値			アンケートの内容の検討など3回にわたる会議と実際にアンケートを実施し、検証まで行った。
			実績値			目標値			実績値			
			目標値			目標値			目標値			
			実績値			目標値			実績値			
			目標値			目標値			目標値			

※達成率は、「目標の設定」で定めた最終目標値に対するもの。

◎主管課による総合評価(今後の方向性を含む)

採点基準:(高い) 5-4-3-2-1 (低い)

総合評価	必要性	4	効率性	4	平成24年1月に景観整備機構補助金交付要綱を制定し、同年9月に宮崎県建築士会を高鍋町景観整備機構に指定しました。25年度の機構の活動は、町の方で設置したさくら通りのサインの評価・検証を行いました。(24年度、機構においてさくら通りのデザインを実施)全体的に好評価で、今後この流れを他の施設にもつなげていきたいと考え、今年度は施設等のサインの基本計画を策定したいと考えています。通常、サインマスタープランを策定すれば委託業務費が相当な額となるが、機構の自主的な活動において5万円の補助金で策定ができれば効率性や有効性の観点から判断して効果は大といえる。	今後の方向性 維持
	有効性	4	公益性	4		

事務事業評価委員会評価欄	<ul style="list-style-type: none"> ・景観整備を専門の立場からアドバイスしてくるなど実績があることから、維持。 ・補助目的の明確化が必要 ・意識の高い建築士会が補助金で対応してくれているので、委託料で実施する場合より財源の軽減も図られているので、このまま維持してもらいたい。 ・金額は少額でありどうこういうものでもないが、町としての補助事業の目的が明確でない ・町としての様な目的をもってアドバイスをもらうのかなどをはっきりさせるべきである。 ・やる気のある団体ではあるが、景観整備機構の位置付けにあいまいな部分がある。 	外部評価委員会評価判定欄
維持		次ページ参照

5	景観整備機構補助金	担当課	建設管理課
---	-----------	-----	-------

◎評価表記載内容の判定

回答人数 6名

目的内容	事業の目的内容は妥当であるか (6名) 妥当である (0名) 妥当でない
成果指標	事業の目的の達成度を表す指標となっているか (5名) なっている (1名) なっていない
活動指標	成果指標を実現するための指標となっているか (5名) なっている (1名) なっていない
妥当性	町民のニーズは高いか (4名) 高い (2名) 普通 (0名) 低い
有効性	成果が得られているか (今後得られる期待があるか) (6名) 得られている (0名) 得られていない
効率性	コストに対して効果は高いか (2名) 高い (3名) 普通 (1名) 低い

◎評価判定 (今後の方向性)

維持	(1名) 拡充 (5名) 維持 (0名) 縮小 (0名) 廃止
【評価内容に関する意見提言】	
<p>【この事業、又はこの事業の分野に関する意見提言】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・この事業は、長期的なプランを作ることと、景観を損なわないような専門的な視点を確保することが大事だと思います。 ・将来に向けては、景観整備としてサインのデザイン・設置だけでなく、より広い視点からの事業拡大を検討していただきたい。 ・事業内容を広く検討し、「基本計画」を踏まえ維持拡充してほしい。 ・案内標識を主要道路の交差点や場所付近に、見やすく分かりやすいように設置してほしい。 ・町の景観が高鍋らしく、良好であることはいいことだと思います。 ・良好な景観を維持するために今後も必要と思う。 ・長期的視点でもって景観整備するには予算が少ないと感じる。 ・設置物の維持管理も怠らないように。 	

平成26年度高鍋町事務事業評価表A

◎事務事業の概要

継続事業

事務事業名	高齢者住宅改造助成事業				基本目標	介護福祉サービスの充実				
担当課(局)・係	健康福祉課	介護・高齢者福祉係	記入者	濱本 生代		事業開始年度	H12	年度		
事業の目的	対象(誰を・何を)				意図(どのような状態にしたいのか)					
	要介護の高齢者				自立した生活を維持できる					
事業の内容	介護の必要な高齢者の自立した生活の促進及び介護者の負担軽減を図るため、住宅改造に要する経費の一部を世帯の状況に応じて補助する									
予算・決算額	年度	平成24	年度決算	平成25	年度決算	平成26	年度予算	平成26年度予算財源の内訳		
	金額	450 千円		50 千円		500 千円		国庫支出金	千円	
	主な予算科目	歳入	社会福祉費補助金				地方債	千円		
		歳出	負担金補助及び交付金				その他	千円		
						一般財源	250 千円			
補助事業	事業の区分	国県補助			補助事業名	高齢者住宅改造助成事業補助金				
	補助対象	在宅の要介護高齢者			補助金要綱	高鍋町高齢者住宅改造助成事業実施要項				
	前年度決算	補助額	50 千円		補助の形態	国県補助	H26年度補助額	500 千円 終期		26
		交付団体の決算額	284 千円		前年度までの見直しの状況・評価委員会での決定事項等					
		決算額に占める割合	18 %		※24年度予算、自主的見直し					
	繰越額	0 千円								

◎指標の設定

「事業の目的」の達成のために、この事業でねらう成果(補助事業の場合、補助対象に期待する成果) ……A								
高齢者の自立した生活の維持及び促進			介護者の負担軽減					
Aの達成状況を計るもの ……成果指標								
成果指標名	最終目標値	単位	成果指標名	最終目標値	単位	成果指標名	最終目標値	単位
助成対象者数	2	人	助成金額	1,000,000	円			
Aを達成するために、この事業で行う活動 ……活動指標								
活動指標名	単位		活動指標名	単位		活動指標名	単位	
住宅改修費支給申請者数	人							

◎目標達成状況

	指標名	単位				これまでの活動状況・特記事項	
			24年度	25年度	26年度		
成果指標	助成対象者数	人	実績値	1	1	目標値	1
			達成率	50.0%	50.0%	達成率	50.0%
	助成金額	円	実績値	450,000	50,100	目標値	500,000
			達成率	45.0%	5.0%	達成率	50.0%
			実績値		目標値		
			達成率		達成率		
活動指標	住宅改修費支給申請者数	人	実績値	59	93	目標値	100
			目標値				
				実績値		目標値	
				目標値		目標値	
			実績値		目標値		
			目標値		目標値		

※達成率は、「目標の設定」で定めた最終目標値に対するもの。

◎主管課による総合評価(今後の方向性を含む)

採点基準:(高い) 5-4-3-2-1 (低い)

総合評価	必要性	4	効率性	4	介護保険サービスの住宅改修(20万円)を超えて改修が必要な場合を対象としており、高齢者等が住み慣れた地域で自立した生活を送るためには必要な事業である。 対象者の住宅改修に対する補助であるため直接的には公益性は低いものの、在宅での生活により、大きな額ではないものの、介護給付費を抑えられている。	今後の方向性
	有効性	5	公益性	2		維持

事務事業評価委員会評価欄	・県の補助があり、所得に応じた助成なので継続すべき事業と考える。	外部評価委員会評価判定欄
維持		次ページ参照

6	高齢者住宅改造助成事業	担当課	健康福祉課
---	-------------	-----	-------

◎評価表記載内容の判定

回答人数

6名

目的内容	事業の目的内容は妥当であるか (6名) 妥当である (0名) 妥当でない
成果指標	事業の目的の達成度を表す指標となっているか (5名) なっている (1名) なっていない
活動指標	成果指標を実現するための指標となっているか (5名) なっている (1名) なっていない
妥当性	町民のニーズは高いか (5名) 高い (1名) ふつう (0名) 低い
有効性	成果が得られているか(今後得られる期待があるか) (5名) 得られている (1名) 得られていない
効率性	コストに対して効果は高いか (5名) 高い (1名) ふつう (0名) 低い

◎評価判定(今後の方向性)

維持	(1名) 拡充	(5名) 維持	(0名) 縮小	(0名) 廃止
<p>【評価内容に関する意見提言】</p> <p>【この事業、又はこの事業の分野に関する意見提言】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 県の補助事業であるが、今後県の施策変更により縮小となっても、町単独で水準を維持してほしい。 ・ 今後高齢化率が急速に高まっていくことが予想されるので、長期視点からこの事業を位置づけて対応してもらいたい。 ・ 財源確保に頑張ってもらって拡充してほしい。 ・ 対象者の確実な把握をしてほしい。 ・ 他市町村との比較説明がほしかった。 ・ 住宅の改造には金額がかかるので、助成事業があると助かります。 ・ 介護者にとってはありがたい事業である。 ・ 適用範囲の拡大を望む。 				

平成26年度高鍋町事務事業評価表A

◎事務事業の概要

継続事業

事務事業名	緊急通報システム事業				基本目標	地域支援体制の充実			
担当課(局)・係	健康福祉課	介護・高齢者福祉係	記入者	濱本 生代		事業開始年度	H19	年度	
事業の目的	対象(誰を・何を)				意図(どのような状態にしたいのか)				
	高齢者や障がい者等				精神的不安なく安全に生活できる				
事業の内容	おおむね65歳以上の高齢者のみの世帯で慢性疾患等により常時注意を必要とする方や身体障がい者のみの世帯で日常生活に不安のある方の安全の確保と精神的不安を解消するために緊急通報装置を貸与し、利用者の世帯の状況に応じた利用料を負担する。								
予算・決算額	年度	平成24	年度決算	平成25	年度決算	平成26	年度予算	平成26年度予算財源の内訳	
	金額	340 千円		345 千円		578 千円		国庫支出金	千円
	主な予算科目	歳入						県負担金	千円
		歳出	委託料					地方債	千円
							その他	千円	
							一般財源	578 千円	
補助事業	事業の区分					補助事業名			
	補助対象					補助金要綱			
	前年度決算	補助額			千円	補助の形態	H26年度補助額		千円 終期
		交付団体の決算額			千円	前年度までの見直しの状況・評価委員会での決定事項等			
	決算額に占める割合	#VALUE!		%					
	繰越額			千円					

◎指標の設定

「事業の目的」の達成のために、この事業でねらう成果(補助事業の場合、補助対象に期待する成果) ……A								
緊急時の迅速な対応			日常生活における不安の解消					
Aの達成状況を計るもの ……成果指標								
成果指標名	最終目標値	単位	成果指標名	最終目標値	単位	成果指標名	最終目標値	単位
設置者数	100	人						
Aを達成するために、この事業で行う活動 ……活動指標								
活動指標名	単位		活動指標名	単位		活動指標名	単位	
事業の広報回数	回							

◎目標達成状況

	指標名	単位	26年度			これまでの活動状況・特記事項
			24年度	25年度	26年度	
成果指標	設置者数	人	実績値	28	25	目標値 28
			達成率	28.0%	25.0%	達成率 28.0%
			実績値			目標値
			達成率			達成率
活動指標	事業の広報回数	回	実績値	1	2	目標値 2
			目標値	1	2	
			実績値			目標値
			目標値			目標値

※達成率は、「目標の設定」で定めた最終目標値に対するもの。

◎主管課による総合評価(今後の方向性を含む)

採点基準:(高い) 5-4-3-2-1 (低い)

総合評価	必要性	5	効率性	5	高齢者のみの世帯で慢性疾患等により常時注意を必要とする方や身体障害者のみの世帯で日常生活に不安のある方は、緊急通報システムを設置することにより、日常生活の不安を解消することができている。 実際に救急車の要請を必要としたケースもあることから、孤立死の防止にもつながり、今後ますますその必要性は高まると考える。	今後の方向性
	有効性	5				拡充

事務事業評価委員会評価欄	・事業としては継続の必要は認めるが、予算と決算のかい離がみられるので予算的には維持。 ・設置対象者の基準を決めきれない中では、拡充の方針も具体性が無い。 ・孤立死の予防にも役立つ ・まずは対象者条件の明確化が必要であり、その方向性に基づき判断すべきと考える。 ・単身高齢者世帯の増加に伴い今後ニーズは増えると思われる	外部評価委員会評価判定欄
維持		次ページ参照

7	緊急通報システム事業	担当課	健康福祉課
---	------------	-----	-------

◎評価表記載内容の判定

回答人数

6名

目的内容	事業の目的内容は妥当であるか (6名) 妥当である (0名) 妥当でない
成果指標	事業の目的の達成度を表す指標となっているか (5名) なっている (1名) なっていない
活動指標	成果指標を実現するための指標となっているか (6名) なっている (0名) なっていない
妥当性	町民のニーズは高いか (6名) 高い (0名) ふつう (0名) 低い
有効性	成果が得られているか (今後得られる期待があるか) (6名) 得られている (0名) 得られていない
効率性	コストに対して効果は高いか (5名) 高い (1名) ふつう (0名) 低い

◎評価判定 (今後の方向性)

拡充	(5名) 拡充 (1名) 維持 (0名) 縮小 (0名) 廃止
【評価内容に関する意見提言】	
<p>【この事業、又はこの事業の分野に関する意見提言】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高齢者の多様なリスクに対応しうるシステムであるので、今後は健康上だけでなく、台風や自然災害時にも対応しうるものにしていてもらいたい。 ・町民の方がこのようなシステムの存在を知らないことがないように周知にご尽力ください。 ・設置基準や条件を確立させてほしい。 ・民生委員を活用し、対象者を把握してほしい。 ・予算の拡充と町民への詳細説明をしてほしい。 ・多目的にも活用できるよう検討してほしい。 ・慢性疾患がなくても、65歳以上の高齢者のみの世帯にも使用できるようになると、もっと助かる人が増えると思います。 ・緊急通報システムを必要とする高齢者が増えていくと思うので拡充すべき事業だと思いました。 ・今後高齢者が増えれば必要性が高まる。 ・利用者の負担軽減も考慮してほしい。 ・対象者の拡充を図ってほしい。 	

平成26年度高鍋町事務事業評価表A

◎事務事業の概要

継続事業

事務事業名	消防団運営事業				基本目標	消防団の充実				
担当課(局)・係	総務課	生活安全係	記入者		事業開始年度		年度			
事業の目的	対象(誰を・何を)				意図(どのような状態にしたいのか)					
	町民				災害発生時に生命財産が守られる					
事業の内容	消防団員の災害出動、教育訓練、消防資機材の点検、災害予防活動等を実施									
予算・決算額	年度	平成24	年度決算	平成25	年度決算	平成26	年度予算	平成26年度予算財源の内訳		
	金額	35,206 千円		39,685 千円		39,045 千円		国庫支出金	千円	
	主な予算科目	歳入						県負担金	千円	
		歳出	非常勤職員報酬	報償金	費用弁償	負担金	地方債	千円	その他	千円
							一般財源	39,045 千円		
補助事業	事業の区分					補助事業名				
	補助対象					補助金要綱				
	前年度決算	補助額		千円	補助の形態		H26年度補助額	千円	終期	
		交付団体の決算額		千円	前年度までの見直しの状況・評価委員会での決定事項等					
	決算額に占める割合	#VALUE!	%							
	繰越額		千円							

◎指標の設定

「事業の目的」の達成のために、この事業でねらう成果(補助事業の場合、補助対象に期待する成果) ……A								
消防団員のスキルの向上			消防団員の確保					
Aの達成状況を計るもの ……成果指標								
成果指標名	最終目標値	単位	成果指標名	最終目標値	単位	成果指標名	最終目標値	単位
火災発生から鎮火までの時間短縮	30	分	消防団員数	285	人			
Aを達成するために、この事業で行う活動 ……活動指標								
活動指標名	単位	活動指標名	単位	活動指標名	単位			
訓練等参加数	人	消防団活動啓発	回					

◎目標達成状況

	指標名	単位	26年度			これまでの活動状況・特記事項		
			24年度	25年度	26年度			
成果指標	火災発生から鎮火までの時間短縮	分	実績値	73	42	目標値	30	火災の状況によって鎮火時間は左右されるが概ね30分内に鎮火できるよう努めたい
			達成率	243.3%	140.0%	達成率	100.0%	
	消防団員数	人	実績値	254	257	目標値	256	
			達成率	89.1%	90.2%	達成率	89.8%	
活動指標	訓練等参加数	人	実績値	6221	5493	目標値	5300	
			目標値	5300	5300	目標値	5300	
	消防団活動啓発	回	実績値	2	2	目標値	2	
			目標値	2	2	目標値	2	
			実績値			目標値		
			目標値			目標値		

※達成率は、「目標の設定」で定めた最終目標値に対するもの。

◎主管課による総合評価(今後の方向性を含む)

採点基準:(高い) 5-4-3-2-1 (低い)

総合評価	必要性	5	効率性	5	災害時における消防団員の必要性は高まっているが、団員確保は厳しい状況が続いているが、女性消防団員の入団希望もあり、機能別団員の検討を急いでいる。	今後の方向性
	有効性	5				拡充

事務事業評価委員会評価欄	<ul style="list-style-type: none"> 団員の確保等に力を入れてもらいたい。 費用弁償の増額が団員確保につながるか不明 消防団は必要なものであり、事務事業評価になじまない対象外で良いのでは？ 女性消防団員については、将来的な団員確保なども踏まえたうえで検討してもらいたい 	外部評価委員会評価判定欄
維持		次ページ参照

8	消防団運営事業	担当課	総務課
---	---------	-----	-----

◎評価表記載内容の判定

回答人数

5名

目的内容	事業の目的内容は妥当であるか (5名) 妥当である (0名) 妥当でない
成果指標	事業の目的の達成度を表す指標となっているか (5名) なっている (0名) なっていない
活動指標	成果指標を実現するための指標となっているか (5名) なっている (0名) なっていない
妥当性	町民のニーズは高いか (4名) 高い (1名) ふつう (0名) 低い
有効性	成果が得られているか (今後得られる期待があるか) (4名) 得られている (1名) 得られていない
効率性	コストに対して効果は高いか (3名) 高い (2名) ふつう (0名) 低い

◎評価判定 (今後の方向性)

維持	(2名) 拡充 (3名) 維持 (0名) 縮小 (0名) 廃止
<p>【評価内容に関する意見提言】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・成果指標が分かりにくい。 ・女性消防団員の確保、活用施策を検討してほしい。 ・現在の団員確保の状況から維持と思いましたが、団員増のめどや案が出たら拡充と思いました。 <p>【この事業、又はこの事業の分野に関する意見提言】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今後も事業目的の達成および充実に向けて一層のご尽力をいただきたい。 ・事業の特性を考慮して、「特別事業」のような形で独立させてはどうか。 ・人と人のつながりややりがいを感じた体験談を聞くなど、消防団員が入団しやすい、または入団してもいいと思う機会を作るとよいと思う。 ・火災予防巡回等に女性団員を活用してほしい。 ・消防団員の門戸を広げ、現団員の負担を軽減してほしい。 ・火災だけでなく、水害等の訓練も行ってほしい。 	

平成26年度高鍋町事務事業評価表A

◎事務事業の概要

継続事業

事務事業名	消防施設整備事業				基本目標	消防施設の充実					
担当課(局)・係	総務課	生活安全係	記入者	上妻信一		事業開始年度	年度				
事業の目的	対象(誰を・何を)				意図(どのような状態にしたいのか)						
	高鍋町消防団				活動が円滑に行える						
事業の内容	消防団の消防車両等の導入・更新、消防機庫の建設、消防水利の維持管理、防災行政無線整備を行う										
予算・決算額	年度	平成24	年度決算	平成25	年度決算	平成26	年度予算	平成26年度予算財源の内訳			
	金額	249,025 千円		253,376 千円		255,162 千円		国庫支出金	千円		
	主な予算科目	歳入	地域防災力強化促進事業費補助金					地方債	千円		
		歳出	修繕料(物) 備品購入費 負担金 繰出金					その他	千円		
							一般財源	254,541 千円			
補助事業	事業の区分					補助事業名					
	補助対象					補助金要綱					
	前年度決算	補助額			千円	補助の形態			H26年度補助額	千円	終期
		交付団体の決算額			千円	前年度までの見直しの状況・評価委員会での決定事項等					
	決算額に占める割合	#VALUE!		%							
	繰越額			千円							

◎指標の設定

「事業の目的」の達成のために、この事業でねらう成果(補助事業の場合、補助対象に期待する成果) ……A								
消防団の装備の充実			消防団設備の適正な維持管理・整備点検					
Aの達成状況を計るもの ……成果指標								
成果指標名	最終目標値	単位	成果指標名	最終目標値	単位	成果指標名	最終目標値	単位
ポンプ・車両更新基準遂行率	100	%	機庫点検実施数	154	回			
Aを達成するために、この事業で行う活動 ……活動指標								
活動指標名	単位	活動指標名	単位	活動指標名	単位			
消防車両点検整備数	件	施設、機械機器修理数	件	消火栓管理数	基			

◎目標達成状況

	指標名	単位	26年度			これまでの活動状況・特記事項		
			実績値	24年度	25年度		目標値	
成果指標	ポンプ・車両更新基準遂行率	%	実績値	87.5	83.3	目標値	83.3	更新基準(消防車両14台 17年、小型動力ポンプ10台 10年)までに更新が完了したものの割合
			達成率	87.5%	83.3%	達成率	83.3%	
	機庫点検実施数	回	実績値	154	154	目標値	154	
			達成率	100.0%	100.0%	達成率	100.0%	
活動指標	消防車両点検整備数	件	実績値	10	5	目標値	10	
			目標値	10	5			
	施設、機械機器修理数	件	実績値	8	43	目標値	34	
			目標値	5	5			
	消火栓管理数	基	実績値	498	502	目標値	502	
			目標値	471	502			

※達成率は、「目標の設定」で定めた最終目標値に対するもの。

◎主管課による総合評価(今後の方向性を含む)

採点基準:(高い) 5-4-3-2-1 (低い)

総合評価	必要性	5	効率性	5	町民の生命と財産を守るため、消防資器材の更新は急がれるが、補助事業の獲得など年次計画を立てて対応していきたい。	今後の方向性
	有効性	5				拡充

事務事業評価委員会評価欄	<ul style="list-style-type: none"> 現状と整備計画を考慮した事業とすること。 計画的に、実施していくことが必要。 施設の更新にあたっては一律ではなく故障の頻度等を勘案するべき 補助事業等を有効に活用しつつ計画的な更新が必要であるが、適正な維持管理により施設や資器材の延命を図ることも必要 	外部評価委員会評価判定欄
維持		次ページ参照

9	消防施設整備事業	担当課	総務課
---	----------	-----	-----

◎評価表記載内容の判定

回答人数

5名

目的内容	事業の目的内容は妥当であるか (4名) 妥当である (1名) 妥当でない
成果指標	事業の目的の達成度を表す指標となっているか (5名) なっている (0名) なっていない
活動指標	成果指標を実現するための指標となっているか (5名) なっている (0名) なっていない
妥当性	町民のニーズは高いか (2名) 高い (3名) 普通 (0名) 低い
有効性	成果が得られているか (今後得られる期待があるか) (5名) 得られている (0名) 得られていない
効率性	コストに対して効果は高いか (2名) 高い (3名) 普通 (0名) 低い

◎評価判定 (今後の方向性)

維持	(1名) 拡充 (4名) 維持 (0名) 縮小 (0名) 廃止
<p>【評価内容に関する意見提言】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事業の目的については、「消防施設・危機の点検時順の達成率をクリアする」とすべきであり、そうすれば成果指標と整合できる。 ・消防施設整備計画と予算の整合性を図ってほしい。 ・更新予定を見る限り維持でよいと思います。 <p>【この事業、又はこの事業の分野に関する意見提言】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「独立事業」とすることを検討してほしい。 ・町内のどこにAEDがあるのか地図で表示されたものが身近にあると、いざという時に探しやすいので安心かと思います。 ・年次計画通りに執行して、消火活動等が滞りなくできるようにしてほしい。 ・予算の制限で苦勞もあるでしょうが、町民のために頑張ってください。 	

平成26年度高鍋町事務事業評価表A

◎事務事業の概要

継続事業

事務事業名	地域安全対策事業				基本目標	防犯意識の啓発					
担当課(局)・係	総務課	生活安全係	記入者	上妻信一		事業開始年度					
事業の目的	対象(誰を・何を)				意図(どのような状態にしたいのか)						
	町民				安全に生活できる						
事業の内容	防犯協会や防犯モデル地区、地域安全組織の防犯活動の支援。青パトを活用した防犯パトロールの実施。防犯灯の設置。										
予算・決算額	年度	平成24	年度決算	平成25	年度決算	平成26	年度予算	平成26年度予算財源の内訳			
	金額	1,409千円		1,961千円		1,760千円		国庫支出金	千円		
	主な予算科目	歳入						県負担金	千円		
		歳出	修繕料(防犯灯) 工事請負費(防犯灯)					地方債	千円		
							その他	千円			
							一般財源	1,760千円			
補助事業	事業の区分	町単独補助			補助事業名	高鍋町防犯協会補助金					
	補助対象	高鍋町防犯協会			補助金要綱	高鍋町防犯協会補助金交付要綱					
	前年度決算	補助額	50千円		補助の形態	運営費補助	H26年度補助額	50千円		終期	26
		交付団体の決算額	50千円		前年度までの見直しの状況・評価委員会での決定事項等						
		決算額に占める割合	100%								
		繰越額	0千円								
	事業の区分	町単独補助			補助事業名	高鍋交番連絡協議会補助金					
	補助対象	高鍋交番連絡協議会			補助金要綱	高鍋交番連絡協議会補助金交付要綱					
前年度決算	補助額	50千円		補助の形態	運営費補助	H26年度補助額	50千円		終期	26	
	交付団体の決算額	50千円		前年度までの見直しの状況・評価委員会での決定事項等							
	決算額に占める割合	100%									
	繰越額	0千円									

◎指標の設定

「事業の目的」の達成のために、この事業でねらう成果(補助事業の場合、補助対象に期待する成果) ……A									
犯罪抑止効果が高まり犯罪発生件数が減る		防犯見守り活動を通じて地域の連帯感が深まる							
Aの達成状況を計るもの ……成果指標									
成果指標名	最終目標値	単位	成果指標名	最終目標値	単位	成果指標名	最終目標値	単位	
刑法犯認知件数の減少	120	件	防犯灯設置済数	1600	基				
Aを達成するために、この事業で行う活動 ……活動指標									
活動指標名	単位	活動指標名	単位	活動指標名	単位				
防犯活動実施地区数	地区	年間防犯灯設置数	基						

◎目標達成状況

	指標名	単位	24年度		25年度		26年度		これまでの活動状況・特記事項
			実績値	達成率	実績値	達成率	目標値	達成率	
成果指標	刑法犯認知件数の減少	件	実績値	124	141	目標値	120	防犯パトロールの実施や防犯灯設置により犯罪抑止効果が高まり刑法犯認知件数の減少につながる。 ここ数年、毎年20基以上の要望があげられている。補修による器具交換はLEDへ切り替えしている。	
			達成率	103.3%	117.5%	達成率	100.0%		
	防犯灯設置済数	基	実績値	1535	1544	目標値	1554		
			達成率	95.9%	96.5%	達成率	97.1%		
活動指標	防犯活動実施地区数	地区	実績値	13	13	目標値	24	蚊口、高蒲池、小丸出口、正ヶ井手、道具小路、水除で取組あり、今後コミュニティスクール事業による見守り活動を展開し実施団体を広げたい。 毎年要望が20基以上あるが予算の制約がある。	
			目標値	13	13				
	年間防犯灯設置数	基	実績値	10	9	目標値	10		
			目標値	10	10				
			実績値			目標値			
			目標値			目標値			

※達成率は、「目標の設定」で定めた最終目標値に対するもの。

◎主管課による総合評価(今後の方向性を含む)

採点基準:(高い) 5-4-3-2-1 (低い)

総合評価	必要性	5	効率性	4	東小校区内で、コミュニティスクール事業の取組が開始される予定で、下校時の見回り等に青パトの有効活用を図っていくよう検討している。	今後の方向性
	有効性	4	公益性	4		維持

事務事業評価委員会評価欄	<ul style="list-style-type: none"> 根本的な地域安全の方策を検討する必要あり。 防犯事業は必要であるが、防犯協会の活動を今後検討すること 補助対象団体の統合等によりスケールメリットによる事業合理化の余地があるように感じる 	外部評価委員会評価判定欄
維持		次ページ参照

10	地域安全対策事業	担当課	総務課
----	----------	-----	-----

◎評価表記載内容の判定

回答人数

5名

目的内容	事業の目的内容は妥当であるか (5名) 妥当である (0名) 妥当でない
成果指標	事業の目的の達成度を表す指標となっているか (5名) なっている (0名) なっていない
活動指標	成果指標を実現するための指標となっているか (5名) なっている (0名) なっていない
妥当性	町民のニーズは高いか (2名) 高い (3名) ふつう (0名) 低い
有効性	成果が得られているか (今後得られる期待があるか) (3名) 得られている (2名) 得られていない
効率性	コストに対して効果は高いか (1名) 高い (4名) ふつう (0名) 低い

◎評価判定 (今後の方向性)

維持	(2名) 拡充 (3名) 維持 (0名) 縮小 (0名) 廃止
<p>【評価内容に関する意見提言】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・防犯パトロール実施日数が倍になっているので、刑法犯の件数を下げる努力が必要。 <p>【この事業、又はこの事業の分野に関する意見提言】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高鍋町は人口に対する刑法犯認知件数が高い地域となっているようです。これらの背景や動機の実態分析等を含めた抜本的な対策をご検討いただきたい。 ・防犯協会や他団体との連携を密にして活動を図ってほしい。 ・自主防犯組織設立の推進を図り防犯意識の啓発をしてほしい。 ・コミュニティ助成事業の対象とできないか。 ・場所によっては防犯灯等のない暗い道が結構あるので、少しでも多く設置してもらいたい。 ・コストのかからない防犯灯の設置を推進してください。 	

平成26年度高鍋町事務事業評価表A

◎事務事業の概要

継続事業

事務事業名	農業振興対策事業			基本目標	農業経営基盤の強化				
担当課(局)・係	産業振興課	農林畜産係	記入者	坂 敬章		事業開始年度	年度		
事業の目的	対象(誰を・何を)			意図(どのような状態にしたいのか)					
	農家			資質向上と会員の親睦を図り、高鍋地区の農畜産業の発展に寄与する					
事業の内容	各生産部会等に下記の補助を行っている。 農協各生産部会 622,000円 花き振興会 30,000円 茶業振興会 65,000円								
予算・決算額	年度	平成24	年度決算	平成25	年度決算	平成26	年度予算	平成26年度予算財源の内訳	
	金額	714千円		714千円		714	千円	国庫支出金 0千円	
	主な予算科目	歳入						県負担金 0千円	
		歳出	補助金					地方債 0千円	
							その他 0千円		
							一般財源 714千円		
補助事業	事業の区分	町単独補助			補助事業名	農業振興対策事業補助金			
	補助対象	農協、花き振興会、茶業振興会			補助金要綱	農業振興対策事業補助金交付要綱			
	前年度決算	補助額	717千円		補助の形態	運営費補助	H26年度補助額	717千円	終期 26
		交付団体の決算額	5,075千円		前年度までの見直しの状況・評価委員会での決定事項等				
		決算額に占める割合	14%						
繰越額	83千円		<small>◎各部会に補助金を出す意義が不明である。(H23)</small> <small>◎JA児湯管内3町の統一した補助基準が設けられることを期待する。(H23)</small>						

◎指標の設定

「事業の目的」の達成のために、この事業でねらう成果(補助事業の場合、補助対象に期待する成果) ……A								
各種検討会、研修会の実施			支援団体の活動助成					
Aの達成状況を計るもの ……成果指標								
成果指標名	最終目標値	単位	成果指標名	最終目標値	単位	成果指標名	最終目標値	単位
農業生産額	7,675,710	千円						
Aを達成するために、この事業で行う活動 ……活動指標								
活動指標名	単位	活動指標名	単位	活動指標名	単位	活動指標名	単位	
各種検討会、研修会の開催	回							

◎目標達成状況

	指標名	単位		24年度	25年度	26年度		これまでの活動状況・特記事項
成果指標	農業生産額	千円	実績値	6,722,070	7,410,129	目標値	7,675,710	
			達成率	87.6%	96.5%	達成率	100.0%	
活動指標	各種検討会、研修会の開催	回	実績値	275	275	目標値	250	施設園芸(専門部6)、露地野菜(専門部6)、水稲、養豚、肉用牛、ブリーダー、和牛肥育、総合農政、果樹、花き、茶業、タバコ
			目標値	250	250			

※達成率は、「目標の設定」で定めた最終目標値に対するもの。

◎主管課による総合評価(今後の方向性を含む)

採点基準:(高い) 5-4-3-2-1 (低い)

総合評価	必要性	4	効率性	5	研修会、検討会を通して、農作物の品質向上につながるのはもちろんのこと、ベテラン層と若年層の交流にもつながる。しかし、農作物の価格下落、資材の高騰など、生産者を取巻く環境は悪化の一途であり、このような研修会等は縮小傾向をたどり、生産者の意欲減退、横の繋がりの希薄化につながっている。しかるに、町の農業振興のために本事業は必要不可欠である。なお、支援団体は農業のみならず、本町イベント、事業にも多数、参加協力いただいている。また、本事業は木城町及び新富町と共通の事業である。	今後の方向性
	有効性	4	公益性	4		拡充

事務事業評価委員会評価欄	・3町で検討することで現段階は維持。 ・拡充については、三町の話し合いで。 ・高鍋町単独での金額の増額はできない(新富・木城町と協議のうえ決定) ・各農家の方と接する機会はこちらしかない ・農協も補助金を出している(町以上の金額) ・補助交付にあたっては関係町との協議による判断を要す	外部評価委員会評価判定欄
維持		次ページ参照

11	農業振興対策事業	担当課	産業振興課
----	----------	-----	-------

◎評価表記載内容の判定

回答人数

5名

目的内容	事業の目的内容は妥当であるか (4名) 妥当である (1名) 妥当でない
成果指標	事業の目的の達成度を表す指標となっているか (3名) なっている (2名) なっていない
活動指標	成果指標を実現するための指標となっているか (4名) なっている (1名) なっていない
妥当性	町民のニーズは高いか (1名) 高い (4名) ふう (0名) 低い
有効性	成果が得られているか (今後得られる期待があるか) (3名) 得られている (2名) 得られていない
効率性	コストに対して効果は高いか (1名) 高い (3名) ふう (1名) 低い

◎評価判定 (今後の方向性)

維持	(1名) 拡充 (3名) 維持 (0名) 縮小 (1名) 廃止
<p>【評価内容に関する意見提言】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 成果指標と事業内容が不明確な気がします。 ・ 成果指標と目的が関連付けられない。 ・ 今まで決算額と予算額が同額で推移していたので、維持でよいと思います。 <p>【この事業、又はこの事業の分野に関する意見提言】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ この事業はJA主導のほうがよいと思う。 ・ 会員同士の技術向上の為に補助金であってほしい。 	

7. 今後の外部評価に向けての提言及び要望

①事務事業の選定について（選択方法やヒアリング件数など）

- ・ 妥当だったと思う。
- ・ よいと思います。
- ・ ヒアリング件数はいいくらいの数だと思います。
- ・ もっといろいろな事業のことを聞いてみたいと思います。
- ・ 対象事業を一定以上の規模の予算の事業とし、件数を絞ってヒアリングしてほしい。

②評価表及び補足資料について

- ・ 各年度の事業の予算額と決算額の対応関係が一目でわかるように並び替えたほうが見やすくなると思います。
- ・ 評価表を分かりやすくしてほしい。
- ・ 補足資料は分かりやすくよかった。
- ・ 評価表、資料ともに分かりやすく丁寧に作られていたと思います。
- ・ 問題ないと思います。
- ・ 補足資料は事前配布でもよいと思う。

③ヒアリング時における職員の対応について（説明能力等）

- ・ 全体として誠意を感じる説明であったが、一部気になる発言もありました。
- ・ 資料等もよく準備され、説明もよかったと思います。
- ・ 職員の対応は良好であると思いますが、もっと自信を持って説明していただきたい。
- ・ ていねいに分かりやすく説明していただきました。
- ・ 分かりやすく説明していただきました。
- ・ 丁寧に説明していただきました。

④ヒアリングの日程時間等について

- ・ 日程、時間割等よく配分されて円滑な進行ができていたように思います。
- ・ 妥当だったと思う。
- ・ 時間はもう少し短くてよいと思います。
- ・ 可能であればヒアリング日程の幅を広げてほしい。
- ・ 午前中も行ってよいのでは。

⑤その他（自由記述）

- ・ 「事業の目的」に対する「活動指標」と「成果指標」とのしっかりとした整合がなされていない事業が散見されました。
- ・ 評価表の内容様式をもっとわかりやすく工夫してほしい。
- ・ 費用対効果、展望、将来性について明確にできればなおよい。
- ・ 今回いろいろな事業の話が聞けて勉強になりました。
- ・ 外部評価委員を増やす努力をしてほしい。